

1. データの取得

①リクエスト

リクエストURL (http, httpsでのリクエストが可能)

●パラメータリクエスト例

https://*****/hpd?sid=kasen-api&lat=35.787500&lon=139.731250&rivercode=83029021

■認証

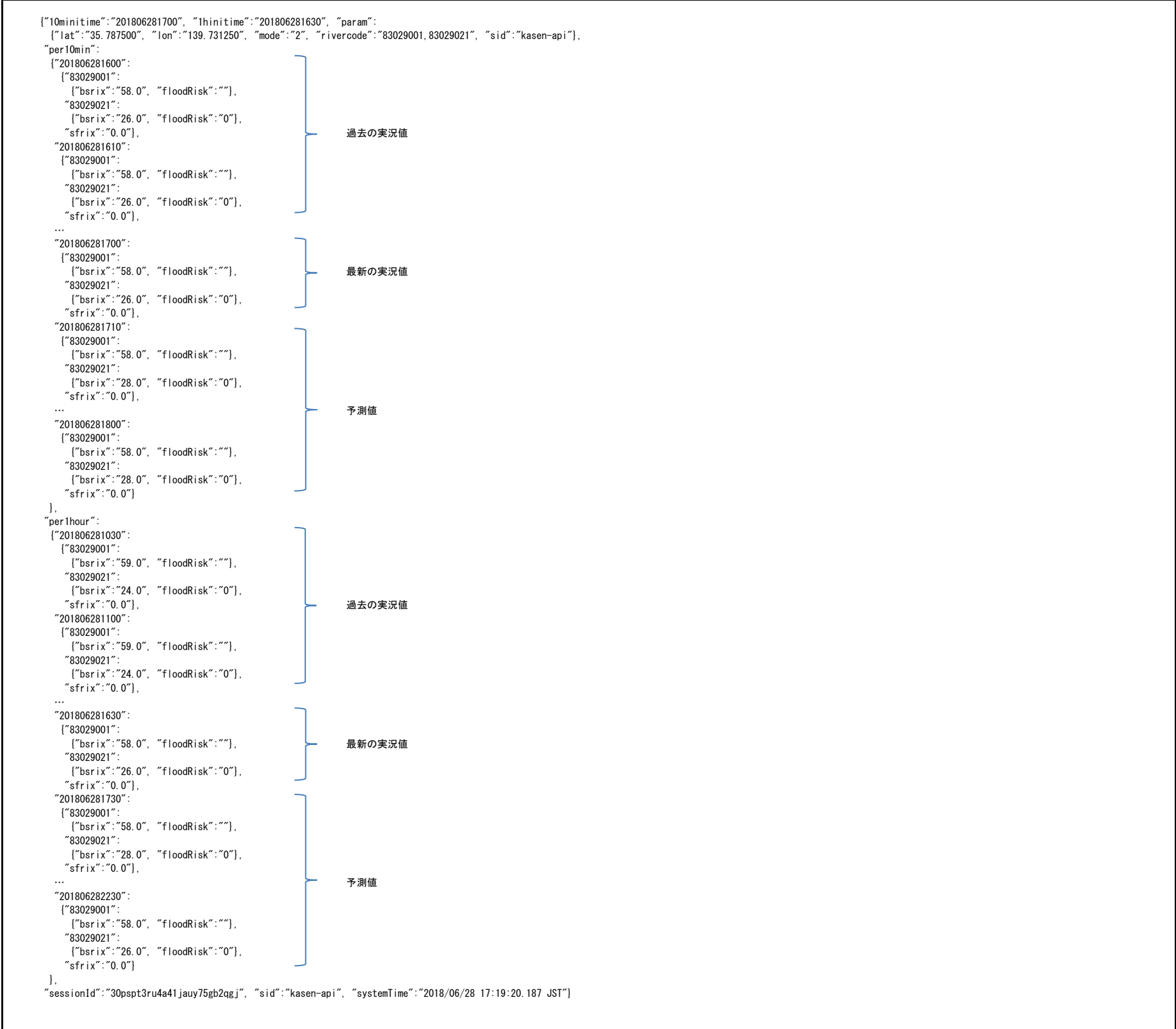
HTTPヘッダーのAuthorization項目にアクセスキーを記載して送付してください。
またはURLへの指定も可能です。(～&key=xxx)

■リクエストパラメータ

No	パラメータ	内容	記述	省略
1	sid	サービスID	kasen-api : JSONレスポンス kasen-p-api : JSONPレスポンス	不可
2	lat※1	緯度	例. 35.5729 , 35.5	不可
3	lon※1	経度	例. 139.0035 , 140	
4	mode※2	取得データ	0:最新の実況＋予測	可(省略時:0)
			1:過去の実況	
			2:最新の実況＋予測＋過去の実況	
5	rivercode	河川コード	例. 83029021 カンマ区切りで複数指定可能	可※3
6	func	JSONPコールバック関数名	コールバック関数名を指定します。 ☆JSONPリクエスト時のみ有効	可(省略した場合、doJsonとなる)
7	key	アクセスキー	別途ご案内	HTTPヘッダーにアクセスキーをセットする場合・・・不要 URL指定の場合・・・不可

- ※1 緯度経度の値は世界測地系に基づいております。
※2 過去の実況は、per10minは10分間隔60分前まで、per1hourは30分間隔6時間前まで
※3 河川コードを省略した場合、指定した緯度経度に該当する格子内の河川の情報を全てレスポンスします。

②レスポンス
(1) レスポンスイメージ (mode=2の場合)



(2) レスポンスデータ項目

No	項目名			概要	補足
1	10minitime			10分間隔情報の気象庁発表日時	YYYYMMDDhhmm
2	1hinitime			1時間間隔情報の気象庁発表日時	YYYYMMDDhhmm
3	per10min			10分間隔・60分先までの情報	
4		YYYYMMDDhhmm			60分前～10分前、10minitime、 10分後～60分後の13回繰り返し ※mode=2の場合
5		sfrix		表面雨量指数	
6		nnnnnnnn		河川コード(8桁の数値)	
7		bsrix		流域雨量指数	
8		floodRisk		洪水警報の危険度	0:今後の情報等に留意、1:注意、2:警戒、3:危険、 4:災害切迫 ※指定河川洪水予報対象流域および、基準値が設定されて いない河川は値なしとする
9	per1hour			1時間間隔・6時間先までの情報	
10		YYYYMMDDhhmm			6時間前～30分前、1hinitime、 1時間後～6時間分後の19回繰り返し ※mode=2の場合
11		sfrix		表面雨量指数	10分間隔・60分先までの情報の同項目と同じ
12		nnnnnnnn		河川コード(8桁の数値)	
13		bsrix		流域雨量指数	
14		floodRisk		洪水警報の危険度	

(3) エラー時のレスポンス

構成	{“error”:“エラーコード:エラーメッセージ”, “systemTime”:“YYYY/MM/DD hh:mm:ss.sss JST”}
----	---

(4) エラーコード一覧

No	エラーコード	エラーの内容
1	ERU-001	key指定エラー
2	ERU-002	keyの有効期限切れ
3	ERR-003	サービス指定エラー(sidが正しく入力されていない場合)
4	ERR-014	APIセンターサーバ側内部にて例外等の事象発生
5	ERR-101	省略不可リクエストパラメータ不足
6	ERR-102	緯度経度(lat、lon)入力エラー(数値以外が入力されている場合)
7	ERR-106	取得データ指定エラー(modeが正しく入力されていない場合)
8	ERR-108	河川コード指定エラー(指定した河川のデータが取得できなかった場合)

2. サーバアクセスに関する注意事項

- ・データ更新タイミングやアクセス頻度の多い時間帯は、処理待ちによるレスポンス遅延となる場合があります。
- ・タイムアウト設定時間やリトライのタイミングについては余裕を持って設定してください。
- ・なお、毎正時直後はアクセス頻度の多い時間帯となります。